

【必読】はじめに (非表示に設定しています。)

◆ 本スライドは、Template として利用しているものである。

- タイトルの下に下線があるスライド、ないスライドを主としている。できる限り、効果的に使い分けるように意識すること。
- 必要ない、使わないスライドは、随時削除/非表示に設定すること。非表示設定は、提出時に削除する。

◆ スマートフォンやタブレット端末でのスライドの作成は、一切認めない。

◆ 原稿は、ノートに書き発表者ツールを用いて発表すること。スマホや紙の原稿を丸読みする行為は、極力控えること。

◆ 文字の書式設定は、タイトルが MS Gothic, 44 pt の太字、説明が MS Gothic, 54 pt の標準字（太字や斜体ではない）、URL が Courier New, 14 pt の標準字に設定している。

- タイトルは入りきらなかった場合のみ、1 pt ずつ小さくしギリギリ入り切るところまでにすること。
- 説明の文字は、自由に移動や大きさの変更をしても良い。ただし、斜体や文字の効果の利用は控えること。
- 強調の際の文字色に関しては、cyan か orange の 2 色にし、それ以外は利用しないこと（色盲の方への配慮）。
- 背景に写真を入れる場合には、文字色は black か white にし、見やすい方を適応すること。
- URL は参考文献と写真を挿入した場合の出典を必ず記す。ない場合は、テキストボックスを削除すること。

◆ スライドやフォントは、設定されたもの以外利用しないこと（互換性の問題）。

◆ 画像の拡張子は、ラスタ形式：JPG (JPEG) , PNG, GIF、ベクタ形式：SVG を利用すること。

◆ その他、守るべき項目を次に列挙する。

- 1 section – 1 message

1 つのセクションで伝えたいことは、1 つに絞ること。たくさん詰め込むと、本来の伝えたいことが曖昧になり、意図や本質が伝わらなくなる。

- 1 slide – 30% contents

1 つのスライドに、30% の内容しか載せないこと。発表においてスライドは、口頭説明を模式的に表現したものであり、補助的なものである。スライドだけで完成してしまうのであれば、わざわざ発表するまでもないだろう。

- Divide and conquer

説明と図はできるだけスライドごと分けること。説明していない内容が目に入るだけで、内容が複雑化し理解が追いつかなくなる場合がある。そのため、アニメーションやスライドを分けたりして、今話しているところを明確化する必要がある。